

海跡湖に注ぐ河川流域の土砂動態に関する研究

Study on Sediment Transportation over the River Basin
which drains into Inland Sea-Lake(Lagoon)

早川 博¹

Hiroshi HAYAKAWA

¹北見工業大学工学部土木開発工学科助教授

要 旨

オホーツク海に注ぐ河川では、河口部に網走湖，サロマ湖に代表される海跡湖を有する河川が多くみられる．その多くは塩水と淡水が混在する汽水湖であり，ワカサギ，シジミなどの漁業が盛んである．近年，河川流域からの土砂流入や富栄養塩類の流入によって，湖の富栄養化が進んでおり，流域としての環境負荷因子の低減対策が求められている．

本研究は，網走市近郊の藻琴湖に流入する藻琴川流域を対象に，現状の土砂動態を把握するとともに，海跡湖である藻琴湖の水環境に与えるインパクトを明らかにし，最終的には，環境保全のために求められる流域対策を検討することが目的である．本論では2004年8月29日から31日にかけて台風16号が北海道を横断した際に実施した藻琴川，藻琴湖の観測結果を基に，藻琴川，藻琴湖の現状について報告する．

《キーワード：海跡湖；浮流土砂；土地利用；流域土砂管理；湖沼環境》